



つか まえ
使う前に

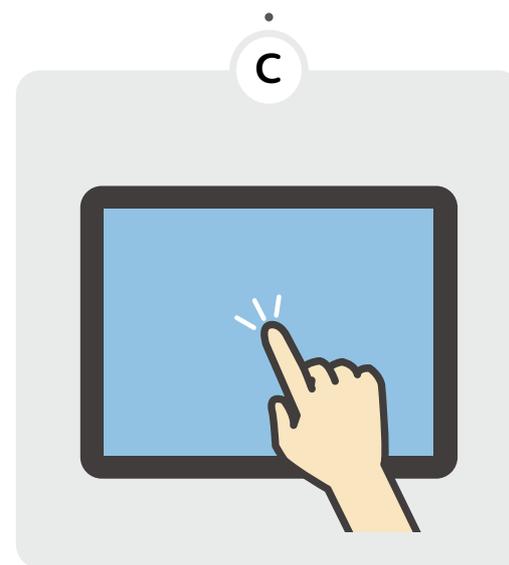
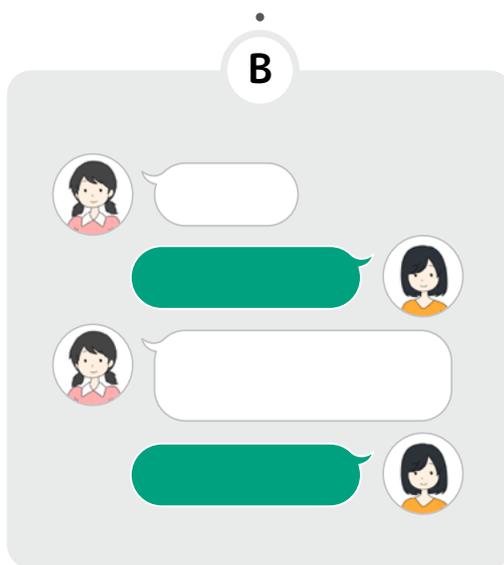
ここから、たんまつを使った^{つか}学習^{がくしゅう}がはじまります。

ここでは、たんまつを使う^{つか}前に^{まえ}知^しっておくべきこと^きや気^きをつけておくべきこと^きについて^{まな}学びます。

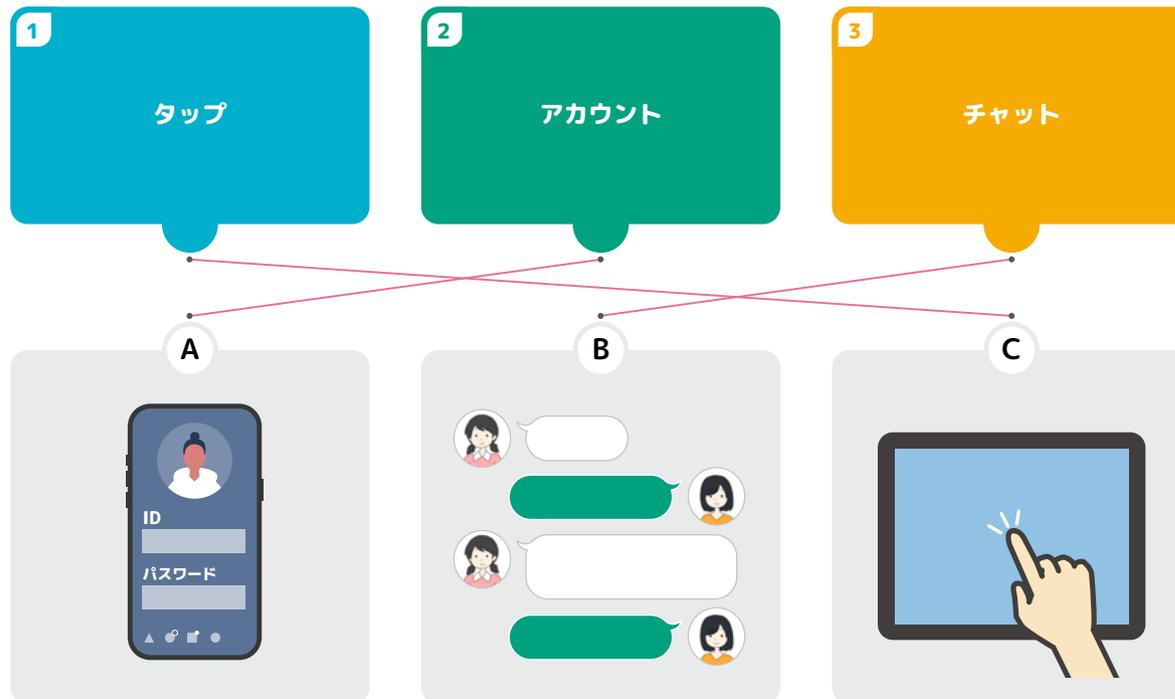
さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、たんまつを使う^{つか}ときの^{ことば}言葉^しを知^しっていると思^{おも}う
- わたしは、自分^{じぶん}にあ^{ほう}った方^{ほう}ほうで^も文字^じを入力^{にゅうりよく}することができると思^{おも}う
- わたしは、たんまつを^{たいせつ}大切^{つか}に使^{つか}っていると思^{おも}う
- わたしは、たんまつを使う^{つか}ときに「ぜ^つたいにや^つってはい^けない^{こと}」がわ^かると思^{おも}う
- わたしは、よりよ^いいパスワード^のの作^{つく}り方^{かた}や使^{つか}い方^{かた}を知^しっていると思^{おも}う
- わたしは、たんまつの^{でん}じゅう電^ををわ^すれた^{こと}がないと思^{おも}う

これから、たんまつを使った学習がはじまります。
 上の1～3の言葉のせつ明として正しいものを、下の①②③の絵からえらび、線でつなげましょう。



せい
正かい



☆ スキルのポイント

「タップ」とは、指^{ゆび}で軽く^{かる}さわることです。

「アカウント」とは、その人のこと^{ひと}をはんだんするもので、家^{いえ}にたとえば住所^{じゅうしょ}のようなもの、「パスワード」とは家^{いえ}のカギのようなものです。パスワードはとても大切^{たいせつ}なものなので、人^{ひと}に教え^{おし}ないようにしましょう。

「チャット」とは、ネット^{うえ}上^{もじ}での文字^{もじ}だけのコミュニケーションのことです。

タブレットでは、いろいろなほうで文字を入力することができます。
つぎ ことば じぶん ほう にゅうりよく
次の3つの言葉を、自分にあつたほうでそれぞれ入力してみましょう。

1

おいしい

2

ごはん

3

がっこう

キーボードで



てが
手書きで



おんせい
音声で



とも
友だちとくらべてみよう

キーボードで



てが
手書きで



おんせい
音声で



★ スキルのポイント

もじ にゅうりょく
文字の入力は、これからひとつようなスキルになります。

じぶん にゅうりょく
自分にあつた方ほうで入力できるようにするとともに、ぜひキーボード入力に
もチャレンジしてみましょう。

れんしゅう じゅう
くりかえし練習することが重ようです。





たいせつ つか 「大切に使う」とは

つぎ 次の3つのことを実践^{じっ}にやってみて、友だちとくらべてみましょう^{とも}。

1

たんまつを
「しずかに」
とじる

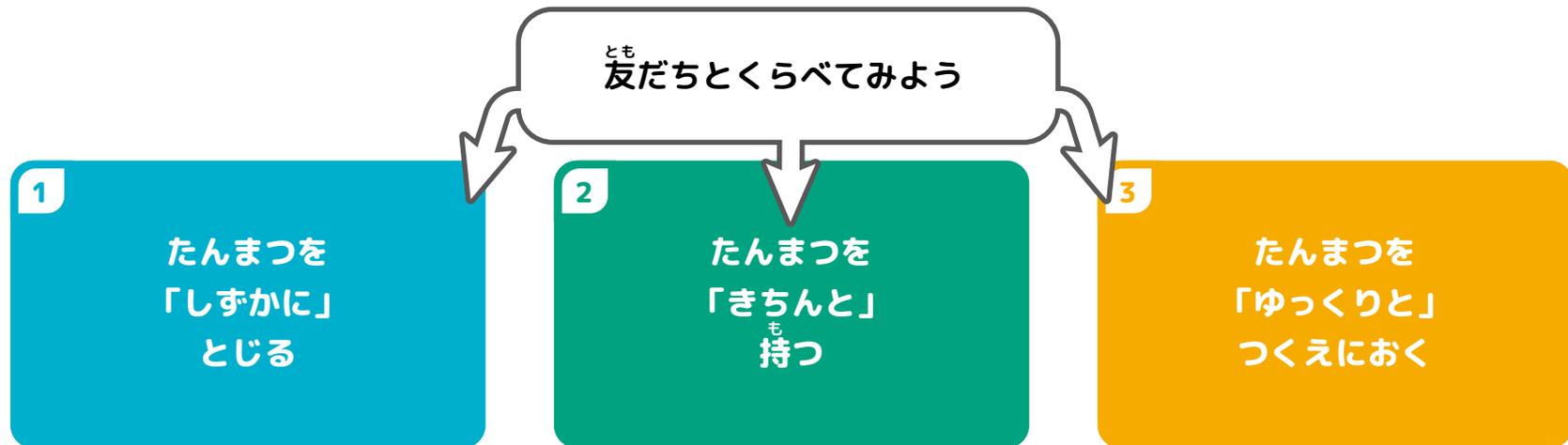
2

たんまつを
「きちんと」
も
持つ

3

たんまつを
「ゆっくりと」
つくえにおく





★ スキルのポイント

たんまつは、大切に^{たいせつ}使わ^{つか}ないとこわれてしまうことがあります。
もし、こわれてしまうと、しゅうりのために^{じかん}時間がかかり、みんなと同じようにたんまつを^{つか}使えなくなることもあります。

たんまつを^{つか}使うときは、できるだけやさしくさわったり、しっかりと^{りょうて}両手で持ったり、ゆっくりとつくえにおいたりすることを^{こころ}心がけましょう。



どのくらいあぶないのかな？

つぎ
次のことは、どのくらいあぶないでしょうか。

「やらないほうがよい」か「ぜったいにやってはいけない」に分けてみましょう。

1

たんまつの動きが
おそいので、少し強く
タップした

2

とも
友だちのたんまつに
勝手にログインした

3

きょうしつ とも き
教室で友だちの着がえの
動画をこっそりとった

やらないほうがよい **A**

B ぜったいにやってはいけない



せい
正かい

やらないほうがよい **A**

1

たんまつの動きが
おそいので、少し強く
タップした

B ぜったいにやってはいけない

2

とも
友だちのたんまつに
勝手にログインした

3

きょうしつ とも
教室で友だちの着がえの
動画をこっそりとした

★ スキルのポイント

とも
友だちのたんまつに勝手にログインしたり、とも
友だちの着がえをこっそりとったりするこ
とは、はんざいなのでぜったいにやってはいけません。

すこし強くタップすることも、たんまつがこわれたりするおそれがあるので、できれば
やらないほうがよいでしょう。





パスワードの作り方や使い方

パスワードにかんする3つの^{こうどう}行動を、「○^{もんだい}問題はない」「×^{もんだい}問題がある」にわけてみましょう。

1

わすれないように、パスワードを自分のたん生日(1215)にした

2

わすれるかもしれないので、友だちにパスワードを教えた

3

友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにした

○^{もんだい}問題はない **A**

B ×^{もんだい}問題がある





せい
正かい

○ もんだい 問題はない A

3 とも 友だちがパスワードを
にゆうりよく 入力しているときは、
その様子を見ないように
した

B × もんだい 問題がある

1 わすれないように、パス
じぶん ワードを自分のたん生日
じょうび (1215) にした

2 わすれるかもしれないの
で、とも 友だちにパスワード
を教えた

★ スキルのポイント

パスワードを自分のたん生日にしてしまうと、ほかの人にかんたんに予想されてしま
います。

パスワードは、他の人がかんたんに予想できないようにして、だれにも教え
ず、もし友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにしまし
ょう。





でん じゅう電できていないのは

いえ も 家から持ってきたたんまつが、じゅう電できていませんでした。
つぎ なか じぶん いちばん 次の中から、自分が一番やっ^てしまいそうなことをえらんでみましょう。

1 あさ がっこう 朝、学校のしたくをした
ので、じゅう電できな
かった

2 あとでじゅう電しようと
おも 思って忘れてしまった

3 じゅう電するひつようが
ないとおも っていた

4 かぞく でん 家族がじゅう電してくれ
ているとおも っていた

5 じゅう電できていると
おも 思っていたら、コンセン
トにささっていなかった



とも
友^{とも}だち^{だち}とくらべてみよう

1
あさ^{あさ} がっこう^{がっこう}
朝、学校^{がっこう}のしたくをした
ので、じゅう電^{でん}できな
かった

2
あとでじゅう電^{でん}しようと
おも^{おも}わす^{わす}
思って忘れてしまった

3
じゅう電^{でん}するひつようが
ないとおも^{おも}っていた

4
かぞく^{かぞく}がじゅう電^{でん}してくれ
ているとおも^{おも}っていた

5
じゅう電^{でん}できていると
おも^{おも}っていたら、コンセ
ントにささっていなかった

★ スキルのポイント

たんまつがじゅう電^{でん}できていないと、がっこう^{がっこう}でつかうことができずにこま^{こま}ってしまいま
す。

「どんなときにじゅう電^{でん}できていないのかな」と自分^{じぶん}がやっ^やってしま^まいそう^{そう}なことを
そうぞう^{そうぞう}想像^{そうぞう}してみま^ましょう。





つか まえ
使う前に

まとめ

じょうず つか 上手に使うために

たんまつは、^{つか}使おうと思えば、^{おも}学習だけでなく^{あそ}遊びにも^{つか}使えてしまいます。

「なぜ、たんまつが^{はい}配ふされているのか」、その^{りゆう}理由を考えながら、たんまつを^{ゆう}有こうに^{つか}使っていきましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、たんまつを^{つか}使うときの^{ことば}言葉を^{めい}せつ明することができる
- わたしは、^{じぶん}自分にあつた^{ほう}方ほうで^{もじ}文字を^{にゅうりよく}入力することができる
- わたしは、たんまつを^{たいせつ}大切に^{つか}使うことができる
- わたしは、たんまつを^{つか}使うときに「^ぜぜつたいに^ややっては^いいけないこと」を^{めい}せつ明することができる
- わたしは、よりよいパスワードの^{つく}作り^{かた}方や^{つか}使い^{かた}方を^{めい}せつ明することができる
- わたしは、たんまつの^{でん}じゅう電を^{わす}わすれないように^くくふう^{する}ことができる